

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	明海大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	メイカイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	キャリアデザイン
	学部・研究科等名	外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部
	担当教職員名・役職	内苑孝美・キャリアサポートセンター長、総合教育センター・大黒章子
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	440
	受入企業等数	600
	受入企業等名	スターツアメニティー(株)、スターツコーポレーション(株)、(株)共立メンテナンス、青山商事(株)、千葉トヨペット(株)、(株)スギコウ、アニメルセル(株)、ワーナー ブラザース ジャパン合同会社、ハウステンボス(株)、(株)イーオン、野村不動産アーバンネット(株)、ポラス(株)、(株)ケイ・ウノ、東急リパブル(株)、三菱UFJ不動産販売(株)、イオンリテール(株)、(株)アルメックス、(株)フォトワークス、(株)オオゼキ、CSSクレセント(株)、(株)プライダルプロデュース、大成有楽不動産販売(株)、(株)北日本新聞社、イタンジ(株)、(株)オウチーノ、(株)全国賃貸住宅新聞社、弁護士法人心、(株)ベアーズ、リゾートラスト(株)、ルートインジャパン(株)、(株)ポジティブドリームワールド、バリューマネジメント(株)、ディップ(株)、ブレイクバンク(株)、(株)Plan・Do・See、日本ホテル(株)、(株)やまと、(株)毎日コムネット、(株)マース・スポーツ・エージェント(株)PTS、ジェフユナイテッド(株)、浦安観光コンベンション協会、(株)ルーツ・スポーツ・ジャパン、アートコーポレーション(株) 他
	インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生が参加した企業によって異なるので例を2つ挙げる。①ビジネスマナーの研修(座学と演習)後、担当の営業所で顧客対応を経験し、自分の強みを発揮できたことや自分の課題が明確になり改善する必要があることをインターンシップ生と人事で振り返る。②当該企業のサービスを理解し、新規事業の計画立案(市場調査や売り上げ予測等含む)を、社員の支援をもらいながら作成し、役員3名の前でプレゼンテーションする。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	通年4単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	キャリアデザインを履修している3年次を対象に、最低、1社あたり1日以上以上のインターンシップに、3社分参加することを単位認定要件としている。事前学習を踏まえて、学生が主体的にインターンシップを探索し、参加手続きを経てインターンシップを体験することになっている。なお、参加企業、時期・期間、プログラム内容については、夏季休暇前後に教員に提出させている。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	①学生間で自己PRに相互アドバイスした後、教員や担当コーチが指導する。(キャリアデザイン履修者は、就職活動終了まで就活コーチの支援を受けることができる) ②グループディスカッションの体験・練習する。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に、学生が希望に応じて大学等において、教員あるいは就活コーチと面談を実施している。また、状況に応じて、電話でのヒヤリングやアドバイスをを行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前研修会を実施している。インターンシップの現状(実施企業や社数、プログラム内容や傾向、先輩の参加社数や経験談など)を調査して把握し、企業がインターンシップを行っている目的や背景を理解する。そして、ケーススタディにより、自分がインターンシップに参加する目的を言語化し、その目的を達成するインターンシップを探索する方法を考え共有する。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	あらためて、インターンシップの内容と期間、参加目的、事前準備を言語化し、参加目的の達成度とその理由、参加して得られたことや自分の変化・成長が感じられたこと、インターンシップの応募から参加までを振り返って成果と課題(できたこととできなかったこと)、今後の行動に活かそうと思うこと、クラスメイトに共有したいプッチ情報を専用のシートにまとめる。最終的には、シートの内容を、グループやクラスで共有する。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ中に確認したいことや疑問・不安がないかを面談でヒヤリングする。また、インターンシップの具体的な内容を聞き、対処に困ったケースや社会人との関わりなどに対するアドバイスをする。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習実施前と事後学習実施後にアンケート(5件法)を実施し、情報収集・外的活動の量や関心性・自立性・自己内省等の変化を定量的に確認している。また、インターンシップの報告書で、自分で考えた参加目的の達成度を自己評価と得られたことを定性的に確認している。これらを活用し、その後の指導を組み立て実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	学生がどのインターンシップを選択したかにより、5-2の1,2,3いずれかに当てはまることとなる。報告書の分析では、2と3のケースが多く見受けられる。

	5-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生の選択により、1社あたり5日間以上の場合もあれば、1社あたり1日で3社合計で3日という場合もある。また、1社あたり2日や3日のケースもある。
要素⑥	6-1. 大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1. はい
	6-2. 該当する大学等と企業の協働取組の内容	3. 企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4. 受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2. 「7. その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3. 上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学と連携した企業に限るが、学生の受入れに当たり、本学のインターンシップの目的や期待される効果などを、企業担当者と本学教職員とで、事前打ち合わせし共有している。また、本学の学生の状況を伝え、課題解決につながり、企業の目的も達成できるプログラムを準備してもらっている。評価は、各企業の基準によるものを共有し指導に活用している。
	7. 上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	本学に、上記内容を全て網羅した該当のウェブサイトがないため、関係資料を郵送でご提出します。別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	明海大学浦安キャンパス
	担当部署名	総合教育センター
	担当者役職名	准教授
	担当者氏名	大黒 章子
	電話番号	047-355-5126
	メールアドレス	a-okuro@meikai.ac.jp